

プログラム(予定)

◆基調講演

6月13日(土) 9:00~9:30

「地域連携とクリティカルパスをいかに生かすか」

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

◆会長講演

6月12日(金) 14:30~15:30

「地域における拠点病院の役割を考える」

国立病院機構長崎医療センター院長 米倉正大

◆招待講演

6月12日(金) 13:30~14:30

1. 「診療報酬を医療の質に連動させる試み：

米国P4P (pay-for-performance)の現状と問題点」

コラムニスト(前ハーバード大学医学部助教授) 李 啓充

6月13日(土) 15:30~17:00

2. 「いつもチャレンジ精神で」(市民公開講座)

TVキャスター 草野 仁

◆特別講演

6月13日(土) 14:00~15:00

「医療提供体制ー今後の展望」

厚生労働省医政局指導課指導課長 三浦公嗣

◆教育講演

6月12日(金) 14:30~15:30

1. 「新型インフルエンザの動向」

国立感染症研究所感染症情報センター長 岡部信彦

6月13日(土) 9:30~10:30

2. 【看護の自律をめざしてーナースプラクティショナーの活用】

「ナースプラクティショナーの教育を開始して」

大分県立看護科学大学学長 草間朋子

「チーム医療維新ー米国におけるナースプラクティショナー(NP)の役割と日本への提言ー」

成人科/婦人科ナースプラクティショナー・

エール看護大学院講師 緒方さやか

6月13日(土) 11:00~12:00

3. 「ERと地域医療体制」

福井大学医学部附属病院副院長、総合診療部教授 寺澤秀一

◆教育セッション

【医療安全の最近の動向とRCA(根本原因分析)について】

6月13日(土) 10:20~12:00

座長：日本医科大学 長谷川敏彦

1. 「医療安全の最近の動向」

東邦大学 長谷川友紀

2. 「RCAの紹介」(演習を含む)

練馬総合病院 柳川達生

東邦大学 藤田 茂

◆シンポジウム

1. 脳卒中地域連携クリティカルパス運用で明らかになった課題と改善に向けて

6月12日(金) 10:00~12:00

座長：横浜市立大森病院 小野 剛

滋賀県健康福祉部医務薬務課 草野とし子

1) 地域医療連携のIT化における課題ーインターネット(K-MIX)を用いた地域連携クリティカルパスの運用ー

香川労災病院 藤本俊一郎

2) 地域医療連携の医療・看護・リハの継続における課題

熊本機能病院 渡邊 進

3) 在宅版地域連携クリティカルパスの作成・運用と課題

綾川町国民健康保険陶病院 大原昌樹

4) 脳卒中地域連携クリティカルパスとアウトカムマネジメントについて

国立病院機構長崎医療センター 高島英昭

2. 医療決断「リスクマネージからクライシスマネージへの決断とその教育」

6月12日(金) 15:30~17:00

座長：東京医科大学茨城医療センター 松岡 健

横浜市立大学附属病院 橋本廸生

1) ケースメソッド授業を用いた医学生に対する医療マネジメント教育

京都大学 森本 剛

2) 医療安全のためのチームワークトレーニングの必要性

大阪大学医学部附属病院 中島和江

3) 透明性の高い組織構築とその維持

東京医科大学茨城医療センター 柳田国夫

4) 「決断」のために学んでおくべきことー医学教育における「医療安全管理学」の体系化に向けてー

九州大学 鮎澤純子

5) 医学部における実践的な医療安全教育

横浜市立大学 後藤英司

3. 専門職としての人材育成マネジメントーチーム医療を醸成するためにー

6月12日(金) 10:00~11:40

座長：特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構 岩崎 榮

名古屋大学 伴 信太郎

◇基調講演「21世紀に求められるヘルスケアプロフェッショナル像とそのために必要な知識と技術」

特定非営利活動法人ヘルスサービスR&Dセンター

(CHORD-J)、School of Health Information Sciences, University of Texas Health Science Center at Houston 青木則明

1) 職種を越えて学ぶ！専門職間教育理論を応用した臨床教育指導者養成コースの開設

長崎大学病院 濱田久之

2) 看護職の特性からみたチーム医療推進の課題と人材育成スキームの構築

福岡女学院看護大学 山田 巧

3) がんに精通した薬剤師の養成と役割

国立がんセンター東病院 遠藤一司